

園名

九重町立このえ飯田こども園

事例分類

休憩時間の確保、ノンコンタクトタイムの確保

■サマリー

○全体での話し合いの
時間確保が難しい
○報告や伝達の周知が
できにくい
○休憩時間の確保
○仕事内容の見直し



目標
○短時間でも時間内の
話し合いができる
○効率よい周知の仕方
○ノンコンタクトタイムの
確保



成果
○勤務内容の変革はで
きにくいがそのことについて
考えることができた
○十分ではないが休息
の部屋を整備した

課題の詳細

○一人担任は場を離れることが難しいことや、
以上児と未満児で生活時間が違うためなか
なか集まりにくい。

○一人一人への伝達で漏れることもある。
○持ち帰りではなくできるだけ園で仕事をし
たいため休憩時間がもたないと感じる職員
もいる。

目標設定の意図

○短時間でも集まれる場を作り伝達をするこ
とで共通認識し、連帯感を深めたい。

○ノンコンタクトの時間を作ることでリフレッシュ
しこどもたちとのかかわり方にゆとりができたり、
保育の質の向上を考えたり、見直したりする
時間ができるようになる

取り組み内容 10月

○全職員に伝達できるようにホワイトボードを利用しようとしたが、結局、記入する時間を確保できず、続かなかった。

○園児の出欠状況はそれぞれの職員が給食室に伝えていたが、ホワイトボードを利用し、リーダーが記入するようにしたので各担任の負担がその分少なくなった。

○休憩時間確保のための話し合いをしてアイデアを出し合いたいと思ったが、行事などで忙しく、なかなかアイデアは出なかったし、話し合いの時間も取れなかった。

取り組み内容 11-12月

- 職員会議等で休息を促す。
- 園長・リーダーが夕方の時間の動きを観察し、改善できそうなところを2者で話す。
- 話した内容を伝達する（繰り返し使える室内飾りや、場に応じて劇遊びなどはCDを使ったりすることで、制作時間やピアノの練習時間の削減ができた。）
- 休息のスペースが収納場所になっていたのを、荷物を他の場所へ移動し空間を作った（空間はできたがすべての荷物を移動できず、居心地のいい場所になっていない）
- 面談をして働くうえでの困りごとなどを聞いた。（保育内容の悩みや事務仕事の多さなどの話があった。）
- 代替職員に来てもらえるか予算の確認を行う。（課へ相談する）
- シフトを工夫し、職員会の内容を少しでも時間内に話すことができるように心がける。（事前に大まかなことを伝えておく）

取り組み内容 1-2月

- 翌月のシフトを決めるときに事務の時間を確保できるように代替の配置をした。
- 夕方の時間で子どもの様子が落ち着いているときは交代で事務ができるように職員で工夫するようになった。
- トイレ掃除を簡単にする日を作った。（状況によるが二日に一回は簡単に）
- 3学期になり年長児が雑巾がけをするようになり、掃除の手間は少し減った。（指導はあり）
- 室内の消毒を午後からくる代替職員にも手伝ってもらうようお願いした。